

第3144回
例会本日の
プログラム年次総会／多様な文化と抱える課題、現代ベトナムの姿
米山奨学生 レクアンズウイさん

メタバースが拓く驚きの未来市場

(株)ピーオーピーオリジン 代表取締役 沼澤拓也 氏

メタバースという仮想世界をご存じですか？メタ(超える)とユニバース(宇宙)を組み合わせた造語です。

1992年に米国で出版された「スノウ・クラッシュ」で初めてこのワードの記載がありました。テレビなどのマスメディアで取り上げる機会が国境を超えて増えてきました。2030年以降には、全世界で50億人がメタバースで日常生活や教育、仕事など何らかの関わりをもつと予測されています(シティグループ調べ)。

メタバースは「現実世界とは異なるデジタル空間に存在する3次元の仮想世界や取引されるサービス」と解釈されており、次世代のSNS(ソーシャルネットワークサービス)といわれています。

今主流のインスタグラムやフェイスブック、TikTok、YouTubeなどは時系列でWeb2.0です。その前のホームページやネットショップなどはWeb1.0になります。これはWebテクノロジーの変遷にとどまらずビジネス市場の多様性でもあります。現実世界の店舗販売はWebゼロといったところでしょうか。メタバースはこれから到来するWeb3.0の未来市場で、消費者はVRゴーグルやスマートグラスというパソコンやスマホに代わる新しいデバイスの中で日常生活をおくります。このように、人類はまた新たな未来市場を発明したのです。英国のリサーチ会社が世界1万社を調査した結果、メタバースというワードを知っている会社はすでに50%超もあります。ビジネスで活用を考えている会社となるとまだ10%で、各業界で模索しているところです。

とは言っても、この市場は確実に成長しています。メタバースの市場規模(世界全体)を他の市場と比較すると自動車市場約100兆円です。これからますます期待されている宇宙市場約40兆円です。そしてメタバース市場は2024年には約10兆円の規模です。このように自動車市場などと比較すると小さく感じます。しかし、宇宙市場が100兆円に到達するのが2024年で、なんとメタバース市場は2030年代の前半と予測されています(ブルームバーグ調べ)。あと5年程度で自動車市場を追い抜く勢いなのです。「メタバース」という言葉は、すでに流行語を超えて、ビジネス戦略や広告戦略における現実のチャンネル選定要因になっています。Web3、AR/VR、3D空間、ゲームワールド、インタラクティブ体験——これらが融合する没入型体験の総称をメタバースと捉えるなら、「従来のデジタル広告 ≒ 2D スクリーン世界」に加えて、「3D空間・体験世界」へ一部を振り替える判断が問われています。

それでは、企業は総広告費(=従来型+デジタル型)全体のうち、どれほどをメタバース領域へシフトすれば良いのか？そしてそれは年々どう拡大していくべきか？この問いを正しく評価するためには、以下の変化を押さえておく必要があります。

1. 広告市場の器(総額)の拡大

世界の広告支出総額は成長を続けており、ストリーミング、ライブスポーツ、eコマース広告、ゲーム内広告、AR/VR広告などが牽引領域です。

2. 没入・体験の消費加速

消費者はただ“見る”広告より、“関わる／体験する”広告を求める傾向が強まっています。ARレンズ、フィルター、ゲーム内体験、バーチャルライブなどが、この傾向を具現化しています。

3. 計測技術の進化

インゲーム広告(ゲームマップ、ワールド常設空間)やAR広告面、3D空間広告枠は年々増加。さらに、これらを可視化・計測する技術(滞在時間、再来訪、参加率、体験から遷移した購買率など)が急速に整備されつつあります。

こうした背景を踏まえ、「広告費の一部をメタバース領域にシフトする」ことは、選択肢ではなくむしろ“不可避な拡張圧”になりつつあります。

◎まとめ:仮想側にある経済圏参入を段階設計で進める

広告主にとって、「メタバースへ広告をシフトする」という命題は、ただのトレンド追従ではなく、消費者接点の拡張戦略を意味します。とはいえ、急激なリソース投入は危険です。だからこそ、2026年から段階的に拡張する戦略設計が肝要です。

- ・ 2026年: まず2~3%を“実験予算”として確保
- ・ 2027~2028年: 勝ちフォーマット拡大で3~7%レンジへ
- ・ 2030年頃: 没入体験が成熟すれば8%~12%程度も現実的

このレンジ設計は、従来広告チャネルとのクロス設計を前提とし、KPI設計、再配分力、業界特性、プラットフォームリスクなどを踏まえた「拡張の道筋」です。

ご清聴ありがとうございました。



■本日のロータリーソング

それでこそロータリー

2025-2026年度

国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長: フランチェスコ・アレツツォ

よいことの
ために
手を取りあおう